



題字は松井岳洋筆

No.403

平成22年9月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206

Tel/Fax.046-875-3723

URL <http://sekishin.holy.jp>

上席師範をいただき岳風忌に参加 吟友をしのんで

副会長 上村 岳 章

このたび上席師範の申請をしていただき、書類審査を通過し、7月1日の岳風忌に参加してまいりました。



岳風忌に先立ちその前日には岳風会館にて上席師範の研修と口頭試問を経て、その日の夕刻にはホテルにて許証授与式が行われました。理事長より、これまでに先輩方々から受けた恩に対しこれからは恩返しの意味で後輩の指導に尽力を注いでいただきたいとの挨拶があり、今回は名譽職的な申請に対しては総本部としてお断りいたしましたとお話がありました。

全国から47名の認許者に対し、理事長より一名ずつ許証が渡されました。神奈川県からは私を含めて3名の方が許証を受けられました。

総本部の役員全員が居並ぶ中での受賞にこれからの責任の重さをひしひしと感じたしだいであります。

次の日には岳風忌で175柱の物故者の合祀とともに法要が行われ、銅版の名簿が公開され、名簿の中に碩心会の福本岳辰、岡本優岳両名の名を確認してまいりました。厳かの中に250数名の参列者とともに法要に参加、改めて吟友のご冥福をお祈りしてまいりました。

今より去ること20数年前私の伯父で師の佐久間溪岳先生の合祀の際に奥様の佐久間岳爽先生と共に出席して以来の出席となりました。地藏寺の改修も完成して、参道も手すり等も整備され墓参し易くなって始めての墓参でした。

私も総本部の青少年育成部の部員として青年の育成、勧誘、会員の増強を図らなくてはならない立場にあります。現在少年少女会員が3名の現状をふまえ、会員の皆様には青年会員増強のためにこれからも是非ご協力をお願いするしだいであります。

行事予定

碩心会皆伝会

日時・10月10日(日) 開場午前9時30分
場所・逗子さざなみホール

鎌倉市詩吟舞連盟25周年大会

日時・10月17日(日) 開場午前10時
場所・鎌倉芸術館小ホール

第2回相州岳風連合吟道講座

日時・10月31日(日) 受付午前9時30分
場所・レイ・ウエル鎌倉

葉山町詩吟舞連盟文化祭

日時・11月3日(水) 受付午前9時15分
場所・葉山町福祉文化会館大ホール

逗子市文化祭詩吟舞発表大会

日時・11月14日(日) 開場午前9時20分
場所・逗子なぎさホール

吟詠と詩舞の集い

日時・11月21日(日) 開場午前9時20分
場所・葉山町福祉文化会館大ホール

冠稱授与

(平成22年7月1日付)

宗匠 上村岳章

宗佑 田中岳総

平成22年度碩心会臨時総会開催

日時 9月18日(土) 午後6時30分開始
 場所 逗子小学校第2音楽室
 出席者 39名十委任状10名 出席率90.7%

開会の辞、碩心会の詩合吟のあと会則により加藤会長が議長に就任、予め配布されていた資料を基に審議が行われました。

(1) 会則の一部改正の件

第4条、大船を削除し、逗子、葉山の2地区を設ける。第8条、広報部に、ホームページの維持・管理に関する事項の追加。75推進部の新設(碩心会75周年記念吟道大会推進)等について改正されました。

(2) 任期満了による新役員承認の件

役員の任期は神奈川岳風連合会吟道大会のため9月まで延期されていたが、平成22、23年度役員が選出され承認されました。

平成22・23年度碩心会新役員

会長 ◎内山岳青
 副会長 上村岳章 ◎磯村岳朋 ◎高橋之岳
 総務部 部長(兼) ◎上村岳章
 副部長 小金岳智 ◎梅澤彰山
 審査業務部 部長 小野岳祥

審査業務部	副部長	◎鴨原隆風	湯浅杏風
企画部	部長	◎角田有風	
教務部	部長	◎小菅岳倅	
副部長	大坪岳久	根岸岳啓	
広報部	部長	伊藤岳光	
副部長	人見岳海	高見湘岳	
柳原伶山			
経理部	部長	有友嘉風	
副部長	大内翠岳		
青少年部	部長(兼)	◎高橋之岳	
副部長	大前智岳	◎由谷悦風	
普及部	部長	◎市川岳穂	
副部長	星野岳輝	原田義岳	
75推進部	部長(兼)	◎角田有風	
副部長	◎嶋津岳幸	◎山本新岳	
逗子地区	地区長(兼)	◎磯村岳朋	
副地区長	佐藤岳由	◎町田紀岳	
葉山地区	地区長	加藤岳美	
副地区長	鈴木岳賢		
監事	◎森 岳靚	菊池岳悠	
顧問	千葉岳関	◎加藤岳洵	
相談役	中村岳愛	中村岳郵	
参与	杉山岳雪	村田岳滯	
白井岳麗			
参事	立澤岳晴	鈴木岳倅	◎加藤岳芳
◎は新任		広報部	伊藤

神奈川岳風連合会吟道大会

浄朗支部 島 光風

記録的な猛暑が続く9月5日(日)、鎌倉芸術館大ホールに於いて表記大会が、碩心会を含む相州ブロックの担当で開催されました。

オープニングは碩心会「祝賀の詞」。黒紋付、仙台平袴姿の舞者13名。後方に、揃いの衣装を着た吟者52名が緊張の面持ちで出を待った。尺八の調べに合わせて静かに幕が上がっていく。会場からどよめきと、アという声が聞こえ、この構成が成功だったことを実感した。私たちは晴れやかに舞、吟じた。

注目の「連吟コンクール」。声量豊かな迫力ある吟に圧倒された。研鑽されたチームのハイレベルの闘いに館内が熱くなった。そして待ちに待った「構成吟」。情感溢れる映像で良寛の世界に誘われていく。

松浦みづきさんの堂々たる吟声に惹きつけられ、その世界に包み込まれていった。この「構成吟」は映像、ナレーション、尺八、シンセサイザー、そして舞者、吟者が一体となった素晴らしい芸術作品だと思った。言葉に言い尽くせない深い感動を貰った。

最後、舞台に出演者が揃い、加藤会長の先導で「半夜」を会場全員で合吟。感動を共有したと思った。大きな拍手が沸きあがった。

初代理事長 渡邊岳神先生

平成22年7月24日(土)・25日(日)総本部夏季吟道基礎講座が日本教育会館で行われ、木部理事長から標記講座がありました。

木村岳風先生は昭和27年7月1日53歳で亡くなられ、当時関東本部長理事長をしておられた渡邊岳神先生が昭和27年8月2日詩吟学院の初代理事長に就任され、8月3日岳風先生の詩吟葬を挙行され自ら司会されました。

渡邊先生は明治29年5月24日生まれ、昭和57年9月8日死去、昭和55年6月7日理事長を退任され、戦後の一時代を築かれました。

先生は栃木県塩原出身で昔で言う丁稚奉公をされ、向学を志して司法試験に合格され弁護士になられ、故郷の小学校に講堂を寄贈される等社会に恩返しされました。理事長になられると先ず宗家制度は採らない。戦後荒廃した日本を吟を通じて建て直すと言われ、すごい先生だと驚いたものです。東京世田谷の吉田松陰を祀った松陰神社境内にある松下村塾は、見る影もなく崩れていたものを自費で建直され、週2日詩吟のために使用させて頂きました。戦後消息の分らなかつた方々がここへ行けば会える所が松陰神社、泉岳寺等の例祭、御命日に行われる奉納吟であったため、これ等の充実が当初の大きな仕事だったので

我々はその実行力にびっくりしました。

渡邊先生は早くから琵琶もやっておられ、

当初漢詩中心の吟詠を行っておられました。後半は自作の詩を自分で符付けして吟ぜられました。先生の情感溢れる「水」を聞かせて頂きました。「水」は学生時代に古本屋で買をめぐっている時に出来た詩で、水が無くなつたらこの世は何も無くなってしまう、その先は自分で考える。ここを上げる、ここを下げる等の細部について言われず何か暗示をかける言い方をされ、誰でも吟ずることができるよう配慮されました。また個人的には我が子以上に面倒を見てくださり人物でも第一級の先生でした。「笛を聞く」の静寂感溢れる吟を聞かせて頂きましたが、詩吟には語る部分と歌う部分があり、「吹き満つ洛陽城」の語る部分が失われつつあり渡邊先生の吟じ方を習ってもらいたい。

先生は岳風先生亡き後の一番難しい時に、長期にわたって吟道を支えて頂きました。先生は後に日本吟道学院を作られ渡邊龍神と名乗られました。先日現日本吟道学院総裁と講師を交換しようと話しました。

本日お孫さんも受講されておられます。皆さんの身近に日本吟道学院の方も居られると思われませんが、交流を深めてもらいたい旨がありました。

高見

夏季吟道講座

第13回夏季吟道講座が8月22日(日)、逗子さざなみホールで開催されました。

出席者は熱中症防止のため、水分を補給し元気に受講しました。

9時40分開講式、「傾心会の詩」を大合吟会長挨拶のあと講座が開始されました。

第1講・上村岳章先生、「五言絶句「寒梅」、七言絶句「常盤孤を抱くの囀」。

第2講・内山岳青先生、律詩「梅花」、両先生の熱のこもつたご指導に敬服する次第です。

昼食休憩後後冠称及び高段者許証授与式が行われました。

後半の第3講・県央岳風会教務部長森脇岳茶先生、和歌「荒磯に波の寄るを見てよめる」「寒蟬鳴く」、何れも源実朝の作であり実朝の生涯について説きあかさされ、詩の心を表現した情感豊かな吟を拝聴しました。

第4講・加藤岳洵先生、韻統入り「ひめゆりの塔」、65年前の悲惨な戦いの光景が目につくとき、戦場に散つた若きひめゆり学徒隊安らかに眠っていたのだきたいものです。

最後に詩心を表現する大切さ、沖繩戦の悲惨さ等について質疑応答があり閉会となりました。

人見

木村岳風先生の墓苑・ 地蔵寺の歴史について

東伏見支部 北原湖 岳

私の詩吟との出会いは、今から15年前、テニ
ス仲間の故寺岡七男さん（詩吟の大先輩）か
ら集会所で詩吟をやっているの、是非見に
来るように、と声をかけられました。

老後の健康増進と趣味を広めようと思った
矢先でしたので、タイミングが合い詩吟を始
めた次第です。詩吟と言えば、昔会社のテニ
ス部の合宿で「鞭声粛粛」を初めて耳にしま
した。

私は諏訪で生まれ、高等学校卒業するまで
諏訪で過ごしましたが、誠に恥ずかしながら、
木村岳風先生が諏訪の出身だとは全く知りま
せんでした。それ以来、地蔵寺の両親と兄の
墓参りの都度、木村岳風先生のお墓に参って
おります。地蔵寺は、建築後約四百年以上経
過し、老朽化が進んだために、平成19年から
建替工事が始まり、昨年5月に完成し、本年
4月24日に落慶法要が執り行われました。兄
の法要が今年2月に地蔵寺にて行われた時、
住職から地蔵寺の歴史の話がありました。
「地蔵寺は、四百年ほど前の豊臣秀吉の時代
に高島城（諏訪湖に浮かぶ浮城と言われてい
る）が築城されたと同時期に、信濃国諏訪藩
祈願所として、愛宕山中腹に建立されました。」

地蔵寺の裏手には、日本百名庭園の一つに
指定され、名鯉が放たれた「鯉（恋）の寺」の
愛称で親しまれる京風の上品な庭園がありま
す。木村岳風先生は、地蔵寺下の地で生まれ、
少年時代は、学校が終わると地蔵寺山に登り、
諏訪湖やアルプスの連山の絶景を前に、毎日
喉も裂けよと日暮れ近くまで熱吟していたと
聞いています。岳風先生のお墓の傍には、次
の句の墓碑があります。

わが墓は地蔵寺の見晴台
風ふくたびに松の銀声

第30回 碩心会温習会決算報告書

収 入	金 額	支 出	金 額
出吟料 1,000×191名	191,000	プログラム 300部	50,400
懇親会費 1,000×137名	137,000	諸施設使用料	10,075
来賓会費 3名	6,000	ホール付属設備使用料	16,700
補助金	60,000	大会議室使用料	9,000
		計	35,775
		弁当・お茶 197名	118,200
		オードブル 136名	76,334
		ビール・お酒	32,155
		お茶・ジュース 26本	5,976
		計	232,665
		トロフィー (3)	10,221
		コンクール参加賞	7,665
		表彰状・コピー・事務用品	14,572
		通信連絡費	11,000
		会議費	10,255
		交通費	5,000
		傷害保険	4,960
		雑費	8,522
		小計	391,035
		経理へ返金	2,965
合 計	394,000	合 計	394,000

会員のうごき

*入会

- 249 坂川 貴子 (晴誉)
横浜市戸塚区上倉田町564-4
☎045-881-6134 紹介者 立澤岳晴
- 250 白石 政子 (渚)
鎌倉市大船4-16-34
☎090-7276-5977 紹介者 梅田萌泉
- 251 馬場 香澄 (一色)
葉山町一色1168-6
☎046-875-1244 紹介者 伊藤岳光
- 252 常盤 正人 (渚)
葉山町長柄1413-69 ☎046-875-6239

*退会

- 54 西川岳幸 (幸和) 死亡 174 溝口美山 (一色)

*支部長変更 (晴誉支部)

- 63 森 岳映 → 23 立澤岳晴

編集後記

2010W杯南ア大会で
日本代表を指揮した岡田監
督に逗子市民栄誉賞が贈呈
され、その席上サッカーが
うまくなるには「サッカー
を好きになること、自分で
考え工夫すること、目標や
夢を持つこと」この言葉が
心に染みみました。

広報部

22年9月1日現在	会員数
葉山地区	124名
逗子・大船地区	97名
合 計	221名